

継承と創造おおいた2019第21回大分県民芸術文化祭共催行事

茶道・香道・華道

日本の三道に 親しむ



三道の歴史は、仏教が伝来した6世紀にまで遡ります。そして今もなお、その伝統が世に語り継がれている事はとても意義深いことです。「道」を極めるといふ強い思いはなくとも、趣味や稽古を通して芸に魅せられることは、各々の「道」を進むことに繋がっています。今回は、初心者でも気軽に三道に親しめる三つのプログラムをご用意しました。平和市民公園能楽堂で、日本の伝統的生活文化を体験しませんか！



日時：2019年11月4日(月・祝)

13:00~17:00 (12:00 開場)

会場：平和市民公園能楽堂

(大分市牧緑町1-30/Tel 097-551-5511)

入場料：500円 (お抹茶付き)

茶道・香道・華道 三道文化体験
先着各40名(有料)

(詳しくは裏面に)

茶道・香道・華道

日本の三道に親しむ



お盆点体験
料金：300円（先着40名）

間香体験
料金：500円（先着40名）

生け花体験
料金：800円（先着40名）

「茶の湯」は、千利休によって大成され、400年以上に渡って受け継がれてきました。その伝統は単なる型の継承ではなく、歴史の中でそのあり方が模索され、その時代に即した新たな息吹がそそぎ込まれ、生きた文化として伝えられてきました。その日本の伝統文化を身近に感じていただくため、お点前だけでなくお茶を点てる体験もご用意しました。この機会に「利休の茶の湯」を存分にお楽しみください。

香道「香り」を聞いてみませんか！香りを「かぐ」ことを、香道の世界では香りを「聞く」といいます。聖徳太子の時代に、「沈香淡路島に漂着せり」と日本書紀に記されて千四百年。香りを薫す香木の代表が沈水香木とよばれています。沈水香木は、東南アジアに広がる熱帯雨林の中で数十年を経た老木が自然枯死し、土中の様々な影響を受け樹脂が木質に沈着して出来たと言われています。その成り立ちは未だ不明です。自然界の恵みによって頂く、沈水香木に敬意と感謝をこめ、心を澄ましてこのひとときをお過ごし下さい。

およそ1400年前、聖徳太子が創建したと伝えられる京都の六角堂において、代々僧侶が仏前に花を献じていました。そして、池のほとりに住まいしていたことから「池坊」と呼ばれるようになりました。池坊には、一瓶の中に大自然を表す「立花」、草木の生きる姿を表す「生花」、あらゆる空間に対応した「自由花」と言った三つの花形があります。人と同じように生きている花と向き合い、自分らしさを生けてみませんか？

お問合せ：平和市民公園能楽堂

〒870-0924 大分市牧緑町1番30号

月曜休館日[月曜祝日の場合は翌日火曜休館日]

Tel 097-551-5511

Fax 097-551-5512

E-mail info@nogaku.jp



大分バス

[大分方面から]
花津留バス停(下車徒歩5分)
牧バス停(下車徒歩2分)

[鶴崎方面から]
花津留バス停(下車徒歩5分)
牧バス停(下車徒歩2分)
乗越バス停(下車徒歩5分)

JR

JR日豊線・牧駅(下車徒歩5分)